

令和5年5月5日発生能登地方地震における緊急被害状況調査実施報告

文化財防災センター

1. 地震について

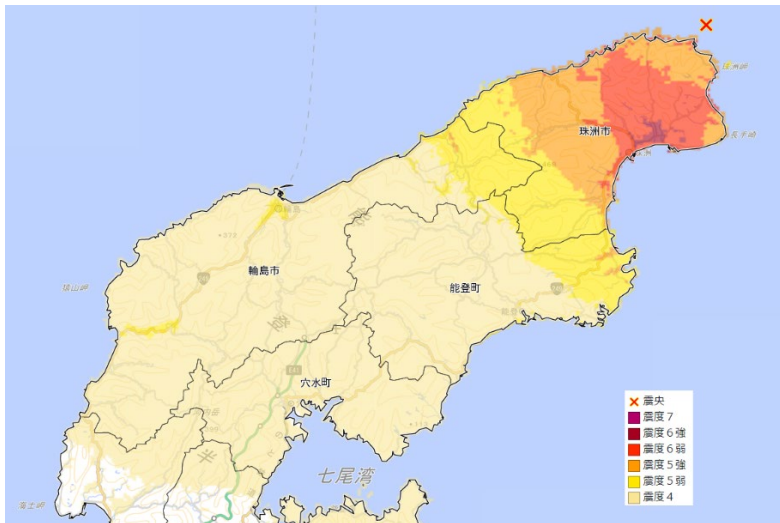
発生時間：令和5年5月5日（金）14時42分ごろ

最大震度：6強 珠洲市正院町

5強 珠洲市三崎町、珠洲市大谷町、能登町松波

深さ：10 km

マグニチュード：6.3



令和5年5月5日発生能登地方地震 震度分布図

2. 調査スケジュール

調査日程 令和5年5月10日（水）～11日（木）

3. 被害状況報告

①住吉神社（宝立町）

石灯笼等の倒壊による破損、本殿の傾きが見られた。



同社の周辺では被害を受けている民家も多数見られ、また応急危険度判定で「危険」の判定（いわゆる赤紙）がされている建物も多数みられた。

②八木家住宅（飯田町）

壁のはらみ、瓦の落下などがみられた。特に土壁の被害が顕著である印象をもった。



本件の周辺でも赤紙や同判定による「要注意」（黄紙）が目立っていた。

③須受八幡宮（すずはちまんぐう）（正院町）

鳥居の柱のずれ、本殿にゆがみがみられた。



正院地区の中心に位置する神社で、本社から町場であった南側にかけての一带で赤紙が目立つとともに、目視でも倒壊や大きな被害を受けている家屋等が多数見られた。

④高倉彦神社（蛸島町）

鳥居倒壊、石灯籠の落下による破損がみられた。



周辺家屋では、赤紙、黄紙を貼られた家が多数見られたが、屋根（棟部）以外に目視で破損が目立つ家は少なめであった。

⑤珠洲焼資料館（蛸島町）

展示資料の転倒による破損がみられた。



【所見】

今回の地震では、珠洲市宝立町～飯田町～正院町～蛸島町にかけて建造物の被害が大きく、その周辺地域にかけても被害がみられた。また石造物については、より広い範囲での被害が確認できた。既に応急危険度判定が行われており、いわゆる赤紙が貼られている家屋をみると、壁、基礎、瓦屋根の被害について記載されているものと、ブロック塀の倒壊可能性、隣接家屋の倒壊等に巻き込まれる可能性が記されたものに大別される印象である。前者についても、応急的な処置で安全が確保できるものと推定される棟も多く見られ、マスコミ等で報じられているような「住めない」というレベルの注意喚起はそれほど多くない印象を持った。

博物館等の被害では、真協縄文資料館および珠洲焼資料館の資料の破損が報告・報道されているが、概ね大きな被害には至っていない。史跡等記念物でも目立った被害は確認できなかった。